

石川県剣連だより 剣風春秋

第52号

— 発行 —

一般財団法人
石川県剣道連盟

〒920-0811

金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号室

TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341

E-mail: ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp

URL: www.ishikawa-kendo.com

三期目のスタートにあたって

会長
南 信廣

今般、会長職を再任されました。引き続き、よろしく願います。

さて、コロナ禍もようやく落ち着き普通の生活に戻りつつあります。当連盟は今年、設立70周年、併せて一般財団法人移行10周年という節目の年に当たりますので、記念事業等を通して活動を活性化したいと思えます。幸先良く先般5月の郡市對抗剣道大会では、知事としては初めて馳浩知事が来場され、観戦後に激励の言葉もいただきました。

今期も基本的には、先ず競技力の強化で、剣道は昨年、全中大会で女子個人3位の快挙があり、栃木国体では全4種別出場して成年女子が堂々5位入賞を果たしました。やはり全国大会での活躍は県剣道界

を元気づける源になります。ジュニアの育成・強化は少年育成委員会が頑張ってくれております。女性理事5名となり剣士の拡充は全国的に見てもその流れにあり、本県でも十分可能と思います。ゆーりんピックの皆さんは益々元氣一杯です。

質の向上については、全剣連広報紙「剣窓」本年6月号によれば、剣道中央段位審査で、ここ3年間の実技審査で本県の合格率は各段全国上位（六段2位、七段5位、八段一次2位）で目を見張ります。居合道、杖道を含めた会員拡大、コンプライアンスや諸課題についても、引き続き、効果の上がるよう進めて参ります。

次に当面の課題として、中学校部活動の地域移行や、来年の北信越国体及び再来年の全日本東西対抗剣道大会の地元開催に向けた準備等については、関係機関と連携して適切に対応して参ります。

結びに、先人がこれまで幾多の艱難辛苦を乗り越えながらつないでこられたこの素晴らしい日本の伝統文

特集記事

- 2頁 「八段に合格して」 藤井 勝司
- 4頁 「私の剣道」 東京大山本 昂生
- 6頁 「郡市剣道紹介コーナー」

珠州市、金沢市剣道連盟

化「剣道」の普及・発展のため、役員一同、次の80周年、その先を見据えてしっかりと取り組んで参ります。

設立70周年記念面手拭いの作製



(揮毫) 日本画家、刀剣・鐔研究家
金沢学院大学名誉教授 丹羽 俊夫氏(金沢市在住)

後日、郡市剣道連盟を通じて会員の皆様へお届けします。

剣道公認審判員規程の一部改正



現在、103名の方々が公認審判員として登録されているところですが、各審判員の活動実績に偏りが見られることから、先の理事会で次のとおり規程が一部改正（傍線部分）されました。

公認審判員の皆さんは、法人が主催する大会をはじめとして、審判要請があつた時には是非ご協力をお願いします。

(公認審判員の義務)

第8条 公認審判員は、この法人が主催する大会等において、毎年度内に最低1回以上は審判員として活動しなければならない。

また、この法人が後援する大会等において、主幹団体からの審判の派遣要請により協力する義務を負う。



特集

八段に合格して

小松市
藤井 勝司

一 審査会当日

昨年の夏は大雨災害対応、秋も仕事により受審が叶いませんでした。そして、令和5年5月1日京都会場での審査会を受審し、5回目で八段に合格しました。仕事の都合で前泊できず、助手席に長男を乗せ、当日は車で京都入りしました。運良く会場前に駐車でき、隣の車は偶然にも石川県の受審者、受付では大学時代の後輩に久しぶりに会い談笑するなど、心穏やかに自然体で過ごし、会場外では長男と雑談しながら臨んだ実技審査では、落ち着きつつも全力で、そして集中して稽古どおりに実践できたと思います。

二 八段審査に向けた取り組み

私の剣道活動の基軸は、小中学生や高校生、そして卒業生たちの

育成とサポートです。石川県剣道連盟での少年育成委員会委員長、小松桜木剣正会では代表という役割をいただき、仕事を何とか調整しながら子どもたちと関わる時間を最優先に剣道に取り組んでいます。また、昼夜を問わず小松桜木剣正会の運営事務と活動計画の立案実施、少年育成委員会の各種対応も行っているため、必然的に剣道に携わる時間も長く、多面的に剣道を考えることも増えています。

この指導の中で、小中学生へは、左足や左腰等の左の軸を作りながらの一拍子の面と小手を稽古の根幹とし、その上で、技前の習得、仕掛け技や応じ技などが体現できるよう願ひ説明していますが、この内容が自分自身に向かって強く跳ね返り、私の審査に向けた稽古への意識づくりや理想とする剣道に大きな影響を与えてくれました。大人との稽古の機会は多く確保できていませんが、中高校生たちとの稽古は私を大いに刺激し成長に導いてくれていると実感しています。

三 とても恵まれた環境下での剣道
学生時代、範士九段堀籠敬藏先生に週2回は稽古に掛かる機会をいただき、京都大会には防具持ちでお供させていただいた経験があります。この武徳殿での凜とした空気感と剣道の奥深さを感じたことは未だに忘れません。

石川県剣道連盟の稽古に参加した際は、山下和廣先生、末平佑二先生から八段審査に向けてご指導いただき、その後の稽古で常に意識しました。私の地元である小松市には教士八段が2名おられ、安江正紀先生からは親身になって八段審査への準備をご教示いただき、岩脇司先生には実技審査の立会はもとより、律子先生も含め、公私にわたりいつもサポートいただいています。また、自分の子どもが入学した金沢桜丘高校では、小田哲生先生の子どもたちに対する真剣で謙虚な取り組み姿勢に触れ、私の剣道指導に多大なる影響を与えていただきました。

一方、小松桜木剣正会の蓮田先生、小西先生らの指導者は常に同じ気持ちで子どもたちに向き合い、

少年育成委員会では、旧知の仲で共に高め合っている横井先生、北井先生、塩野先生をはじめ各委員にいつも支えていただいています。そして、家族である妻や子どもたちの理解と協力が私の最大の力となっています。このような恵まれた環境が私の剣道を育み、今回の合格につながったと確信しており感謝の意に耐えません。

四 師弟同行に向けて

師弟同行が私の剣道における行動目標です。小松桜木剣正会はもとより石川犬鷲剣道部や関わった多くの子どもたちの頑張り活躍、成長が私の励みになっています。今後とも、小中学生や高校生たち、そして素晴らしい剣道仲間とともに稽古に精進し、剣の道を歩んでいきたいと想っていますので、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



石川県剣道連盟設立70周年記念 第60回石川県居合道大会

居合道委員会

4月2日(日)、県立武道館において記念大会が開催されました。



会場には、株式会社アイ・オー・データ機器様のご協賛により、デジタル看板(サイネージ)が設置され、県内居

合道の紹介のデジタル映像が流され、参加者を喜ばせました。

大会に先立ち、午前は中村正人範士



八段指導による「全日本剣道連盟居合」の講習が行われました。

午後は居合道大会が行われ、公開演武として石川県剣道連盟杖道部員による全日本剣道連盟杖道演武、作田剛也教士七段と山口春夫教士七段による無双直伝英信流組

太刀(太刀打位)演武の後、県内各教室より

60余名の参加者の下、段外・六段の7部門による最優秀選手選考演武により、各賞が選考されました。



○六段の部

最優秀賞 西村 真人(県武)

優秀賞 二木有紀江(小松教室)

優秀賞 越野 美喜(県武)

○五段の部

最優秀賞 川上 照子(白山剣連)

優秀賞 坂本 卓也(小松教室)

優秀賞 石井 義夫(県武)

敢闘賞 笠井 豊(県武)

○四段の部

最優秀賞 田中 甚(県警)

優秀賞 北村 啓憲(内灘稽古会)

優秀賞 濱井 勇介(森本剣友会)

○三段の部

最優秀賞 井村 佑馬(県武)

優秀賞 菅田 匠(内灘稽古会)

優秀賞 最上 進(小松教室)

敢闘賞 鵜島 豊正(内灘稽古会)

○二段の部

最優秀賞 四十万谷 正久(県武)

優秀賞 沖津 二郎(内灘稽古会)

敢闘賞 ブレスファンデアリファルシッド

(内灘稽古会)

○初段の部

最優秀賞 寺西 亮子(七尾教室)

優秀賞 松田 景子(七尾教室)

優秀賞 梅 平進(七尾教室)

優秀賞 高山 秀峰(七尾教室)

敢闘賞 佐藤 明子(七尾教室)

敢闘賞 遠藤 春美(七尾教室)

奨励賞 藤田 利一(七尾教室)

○段外の部

最優秀賞 エルデネブルガン バヤスガラン

(七尾教室)

最優秀賞 三輪 利子(安原公民館)

優秀賞 西田 知恵(小松稽古会)

敢闘賞 高橋 英之(七尾教室)

敢闘賞 岩本 華穂(七尾教室)

奨励賞 西田 柚葵(小松稽古会)

奨励賞 黒田 和葉(七尾教室)

奨励賞 竹森 誠一(七尾教室)

また、70周年記念として、80歳を超え尚元気に稽古を積み重ねている中宮紀美子さん(内灘稽古会)が特別賞として表彰されました。

石川県剣道連盟設立70周年記念 第71回石川県都市対抗剣道大会

事業委員会

5月7日(日)、県立武道館において記念大会が開催されました。

大会に先立ち、安江正紀教士八段と岩脇司教士八段による日本剣道形の演武の後、郡市対抗の熱戦の火蓋が切られました。



今年度は、女子による先鋒戦を新たに設け、当日は本県スポーツ協会会長 馳浩 県知事が観戦される中での決勝戦となりました。

【試合結果】

優勝 河北郡市

二位 羽咋郡市

三位 金沢市

三位 白山市

○最優秀選手

竹田 洋之(河北郡市)

○優秀選手

下池 真平(河北郡市)

高西 祥(羽咋郡市)

前坂 樹宏(金沢市)

浦 章(白山市)



○敢闘賞

桶谷 大樹(加賀市)

宮城島 優(小松市)

曾良 衛人(能美郡市)

竹吉 文哉(野々市市)

竹内 一浩(白山市)

浦部 隼希(金沢市)

新井 一晃(河北郡市)

中越 優里(羽咋郡市)

小山 崇(鹿島郡)

大野 大貴(七尾市)

天内 喬(鳳珠郡)

特別寄稿

『私の剣道』

東京大学剣道部

山本 昂生

私は昨年から東京大学に通っており、大学の運動会剣道部に籍を置いています。今回、寄稿する機会をいただいたので私が思う剣道のことを記そうと思います。



私が剣道を始めたきっかけは、小学校入学と同時に石川県立武道館を訪れ、剣道教室を見学したことでした。そこで剣道の格好良さに惹かれ、そのまま教室生として剣道を習い始めました。当時館長を務められていた末平佑二先生、次いで館長に就任された寺内泰良先生のもとで中学まで、高校では金沢泉丘高校剣道部で剣道を学びました。その間、県武や

他道場および大学の先生方、先輩方に、また市や県の選抜チームでも多くの先生方にご指導いただけたことを感謝しております。



さて、私はこれまで剣道と学問とを両立することに力を注いできました。よくスポーツと勉強の両立は難しいと言われます。しかし、剣道を通じて学んだことの中には学問や特に大学入試に活かせるものも多くあると考えています。今回はそれらの中でも集中力と忍耐力の二つをあげます。

まず集中力についてです。剣道は瞬間の隙が命取りとなる武道です。一度相手と向かい合うと一瞬たりと

も油断できず、少しでも隙を晒すと相手に攻められ打突されてしまいます。逆に充分に集中して攻めれば、自分が打突する機会が得られます。また、剣道の試合を考え

ると多くは三本勝負であり、他のスポーツに比べ得点の重さが大きいです。このことから剣道では気持ちを切らず集中し続けることが重要だと言えます。そして極限状態で集中を持続する能力は勉強でも大事です。特に大学入試などの難易度が高く制限時間内に問題を全て解ききることが難しい試験では集中力がものを言います。緊張する中で解き易い問題を逃さず解き、また初見の問題にも立ち向かっていく過程では一瞬たりとも気を抜くことが許されません。さながら剣道の試合のように感じます。

次に忍耐力についてです。剣道の稽古には追い込み稽古や打ち込み稽古など体力的にも精神的にも自分を追い込む稽古が多くあります。私自身これらの稽古メニューに苦手意識がありましたが、歯を食いしばって取り組んでできました。このようにして培われた忍耐力は大きい勉強に役立ちました。長時間勉強していると飽きがきて辞めたく

なりませんが、それでも頑張れたのはひとえに厳しい稽古から得た我慢強さによるものです。

私の好きな言葉に文武不岐という言葉があります。これは学問と武道はわかれておらず、同じ道であるという意味です。その道を極めれば人間として成長できます。私も剣道を通して集中力や忍耐力を鍛えられたからこそ難関とされる大学の入試を突破し合格できたのだと思います。

ここまで自分と剣道の関わりを振り返って、試合で勝利することも大事ですが日々の稽古から学ぶことが多いのだと実感しました。思えば小中学生の頃、寺内先生には試合に勝つ技術より基礎基本を大事にするようご指導いただいていた。それは剣道の向上には基本が最も重要であるだけでなく、基

本を徹底的に修練する中で日々の生活に通じる多くを習得できるからだと感じられます。私自身、石川県で優勝できるような実力は全くありませんし、これまで試合では勝ち負けを繰り返してきました。しかし、普段の稽古で得た力が剣道以外の場所でも実を結びました。稽古に所懸命に取り組む過程

にこそ意味があるのだと強く感じます。



最後に現在の自分が考える剣道の良さについて書こうと思います。小学生の頃、末平先生が「野球やサッカーなどと違い剣道は相手と構えると1人だ。困った時に助けてくれるチームメイトや助言をくれる監督はいない。だからこそ剣道をする意味がある。自分だけで問題に立ち向かう力が養われる。」という趣旨の話をされました。この話はとて

も印象深く今でもはつきり覚えています。昨今グローバル社会、情報社会の到来に伴い世界の在り方は今までにないスピードで変化し続けています。さらに未曾有のパンデミックが起きたり紛争が勃発したりと予断を許さない情勢となつていきます。そんな中で社会に出ていく私達の世代にとつて、先行く世代からのアドバイスだけでは進んで行けないこともあり、自分で判断し臨機応変に社会に対応していくことが求められます。この問題解決能力はまさに剣道を通じて鍛えられると思っています。

このように剣道では、稽古や試合を通じて人間的に重要なさまざまな素養を身につけられると考えます。今後も稽古に励みつつ人格の陶冶に精進したいと思っています。



特集

郡市剣道連盟コーナー

金沢市剣道連盟

堀内 龍一

金沢市剣道連盟は、金沢市に居住又は勤務する者が剣道及び居合道、杖道の修練を通じ健康なる日本精神を涵養し、心身の練磨と円満なる個性の伸長を期し、併せて会員相互の親睦・融和を図ることを目的とし昭和28年1月に発足しました。そして本年石川県剣道連盟と同じく70周年の節目を迎えました。



昭和53年10月県立武道館が開館以降は市剣道連盟の一般稽古日として毎週木曜日「木曜稽古会」と名付けて実施しており小・中学生も参加しております。

大会行事として少年剣道の育成及び錬成を目的に春・秋の少年剣道大会や金沢市民スポーツ大会を主催しており本年66回を数えております。

また、年3回の級位審査会の実施も大切な事業の一つです。加えて中学校体育連盟への助成及び後援も行っています。

居合道においては、普及発展を目的に県立武道館等において稽古会を実施し、少年剣道大会の開会式後居合道演武を披露して頂いております。



しかしながら、近年の少子化に伴う剣道人口の減少は大きな課題となっております。剣道の魅力を伝えるべく各行事の充実を図り、会員の増強や底辺の拡大に取り組んでいます。

今後も本県を中心となるよう連盟会員一丸となって積極的に活動していきたいと考えています。

珠洲市剣道連盟

竹崎 武雄

連日の報道で記憶にまだ新しいかと思いますが、今年5月5日(金)14時42分頃、珠洲市は震度6強の大地震に見舞われ、市内いたる所で甚大な被害が出ました。

現在、関係方面からのご支援をいただき復旧に向けて全力で取り組んでおりますが、長い道のりになると思われます。

当連盟としては、会員の復旧作業を最優先することで、活動はしばらく休止しております。余震も収まり落ち着きが見られた暁には活動を再開し、皆さんと再び剣を交えることができることを願っております。

令和五・六年度役員

(〇は新任)

(公財)全日本剣道連盟

審議員 末平 佑一

(二財)石川県剣道連盟

顧問・相談役・参与・審議員

名誉会長 穴田龍太郎

相談役 山下和廣 ○末平 佑二

顧問 田畑武正 枘谷敏雄

松本要 高嶋淳一

参与 中村康德 ○北野 優

押田弘光 寺内泰良

守田晴一 ○米林 憲英

審議員 末平 佑二 中村 正人

鈴森庸雄 ○寺内 泰良

大浦外志男 ○北野 優

顧問医師 俵 広樹

◇代表理事・業務執行理事

会長 長 南 信廣

副会長 田上雅治 近藤繁彦

○中村 正人 ○山邊 哲夫

専務理事 宇波和彦

副専務理事 杉本卓也 岩脇 司

事務局長 倉 久廣

事務局次長 ○山田 立司

会計担当 下崎 良智 小村 賢一

◇専門委員会委員長

総務・綱紀委員会 近藤 繁彦

強化委員会 ○杉本 卓也

普及委員会 本橋 克也

事業委員会 ○中居 勝成

審査委員会 岩脇 司

試合・審判委員会 ○安江 正紀

広報委員会 山邊 哲夫

居合道委員会 ○作田 剛也

杖道委員会 ビットマン・ハイコ

少年育成委員会 藤井 勝司

女性委員会 岩脇 律子

ゆーりんピック委員会 中村 康德

倉 久廣先生
「いしかわ生涯スポーツ
功労者表彰」を受賞

昨年12月21日、石川県庁においていしかわ生涯スポーツ功労者表彰(県知事表彰)の授与式が行われ、本連盟発展に長年にわたりご尽力いただいています倉久廣事務局長(金沢市)に馳浩知事から表彰状が授与されました。これからも健康に留意いただき、更なるご指導をお願いします。



予算編成に当たって

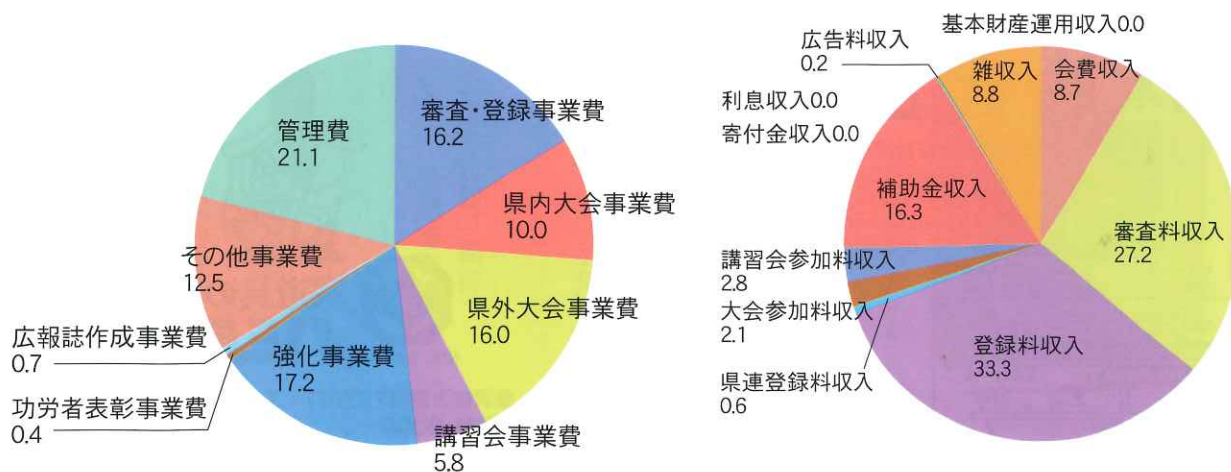
会計担当

下崎 良智

本連盟の令和五年度予算の割合は別表(右図が収入、左図が支出で項目後の数値は割合で単位は%)の通りとなっております。

収入では例年のように審査・登録料が全収入の60%強を占めています。この収入によって大会運営や選手強化・派遣費等を賄っているのは変わりません。支出では今年度設立七〇周年記念事業があり、その他事業費の割合が例年より高くなっています。

予算の編成にあたっては、収支のバランスは勿論のこと本連盟の将来の展望を描いて取り組みました。これからもコンプライアンスを遵守し、会員の皆様に信頼され、開かれた本連盟会計執行に努めて参りますのでご協力をお願いいたします。



【全国大会等記録】(1~6月)

第31回全国高等学校剣道選抜大会

3月26~28日、春日井市総合体育館

◇男子団体トーナメント

▽一回戦

羽咋工業③-②星城(愛知)

▽二回戦

前橋(群馬)②-①羽咋工業

◇女子団体トーナメント

▽一回戦

金 沢①-①五泉(新潟)

▽二回戦

高山西(岐阜)③-①金 沢

第32回北信越高等学校新人剣道大会

2月4~5日、砺波市庄川体育館

◇男子団体

▽予選リーグ

羽咋工業 予選2位

市立工業 予選2位

金沢桜丘 予選2位

七 尾 予選1位(決勝Tへ)

▽準々決勝

七 尾 ②-①長野日大

▽準決勝

丸 岡④-①七 尾

◇女子団体

▽予選リーグ

金 沢 予選1位(決勝Tへ)

金沢二水 予選3位

金沢泉丘 予選3位

羽 咋 予選1位(決勝Tへ)

▽準々決勝

金 沢③-①五 泉

▽準決勝

新潟第一①-①羽 咋

新潟第一②-①金 沢

第47回北九州居合道大会

3月18日、北九州市立総合体育館

◇七段の部

▽優秀演武賞

作田 剛也(小松居合道稽古会)

第60回全日本居合道高知大会

4月23日、南国市立SSC

◇六段男子の部

▽ベスト16

高柳 陽一(養浩館居合道部)

◇七段女子の部

▽優秀演武賞

北川裕美子(金沢梅鉢稽古会)

第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

4月29日、エディオンA大阪

▽二回戦

長 崎②-①石 川

第47回東北日本居合道大会

6月11日、燕市分水総合体育館

◇七段の部

▽優秀賞

作田 剛也(小松居合道稽古会)

北川裕美子(金沢梅鉢稽古会)

▽優良賞

竹松孝代志(内灘居合道稽古会)

須田美佐江(県居合道県武)

◇六段の部

ベスト8 二木有紀江

(小松居合道教室)

第61回北信越高等学校剣道大会

6月16~18日、謙信公武道館

◇男子団体

▽予選リーグ

羽咋工業 予選1位(決勝Tへ)

金沢桜丘 予選4位

星 稜 予選1位(決勝Tへ)

市立工業 予選4位

▽準々決勝

羽咋工業代①-①学館新潟

長野商業代①-①星 稜

▽準決勝

丸 岡本②-②羽咋工業

※優秀選手 森 健真(羽咋工業)

◇女子団体

▽予選リーグ

羽 咋 予選4位

金沢二水 予選4位

金 沢 予選1位(決勝Tへ)

金学大附 予選3位

▽準々決勝

金 沢代①-①新潟第一

▽準決勝

金 沢 ②-①新潟青陵

▽決勝

金 沢 ①-①敦 賀

※優秀選手 亀井 琴葉(金沢)

◇女子個人

準優勝 亀井 琴葉(金沢)

ベスト8 松生 惟里(羽咋)

中央審査会合格者

◇剣道

▽八段

▽七段

▽教士

▽錬士

田 北 森 山下 中村 藤井

鳥 江 樺 由 宏 直 勝

正 克 尊 史 紀 司

吉 吉 松 内

田 村 井 田

隆 修 一 郎

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudougju.jp/>
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



武道具の
ハシモト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL249-8233
〒921-8065 FAX249-9139